



玉塚装飾古墳館 マスコットキャラクター
古代くん



表彰 受賞

11月3日(土)の文化の日、平成30年桂川町表彰式が桂川町役場で行われました。
この表彰は桂川町表彰条例に基づくもので、町の政治・経済・文化・社会その他各般にわたって、町政振興に寄与し、または町民の模範と認められる行為があった方を表彰するものです。

長年の労と功績をたたえ、栄えある受賞

功労表彰

はらなか つねみ
原中 恒美氏



氏は、昭和49年、桂川町消防団に入団以来、終始一貫、消防精神に徹し、平成26年4月には団長に就任。その豊かな経験と卓越した指導力のもと、団独自の実践ポンプ操法大会の開催及び、女性消防班の発足という業績を残しました。消防活動では常に陣頭に立ち、消防力の整備強化、近代化を推進。平成28年4月には、消防人として最高の榮譽である藍綬褒章を受章する等、消防諸般の業務に尽力し、今回の受賞となりました。

功労表彰

やつぎ ひさし
矢次 久氏



氏は、昭和43年、桂川町消防団に入団以来、終始一貫、消防精神に徹し、平成22年4月には本部員に昇進。その重責を果たすとともに団運営の円滑化、消防力の向上に尽力。「あらゆる災害から住民の生命、身体及び財産を守る。」という消防精神に基づき、豊かな経験と指導力によって、部下団員の指導・育成を図りました。平成19年1月には、消防庁長官永年勤続功労章を受章する等の功績から、今回の受賞となりました。

善行表彰

てしま えみこ
手島 恵美子氏



氏は、平成14年に笹尾一区区長に就任以来、本年3月まで16年間にわたり、地域住民が安全・安心して暮らすことのできる地域づくりを推進されました。中でも、笹尾一区公民館建替えの際には、区民に対して建替えの説明や寄附等をお願いし、常に地域住民の先頭に立ち、区長として高い識見と卓越した手腕を遺憾なく発揮し、公民館の建替えを実現。住民相互の融和を目的とした活動の功績から、今回の受賞となりました。

善行表彰

みぎた
右田 よう子氏



氏は、昭和62年に設立した桂川町手話の会において、現在に至るまで会員として活躍され、平成4年に会長に就任。聴覚障がい者への理解と手話の啓発等、心のバリアフリーの実現に向けて積極的に取り組まれました。夏まつり桂川や市民講座では手話通訳を行い、他にも識字学級を開催する等の熱心な活動により、聴覚障がい者が社会参加しやすい環境整備にも尽力されたことから、今回の受賞となりました。